

### 第3回家庭学習強化週間：復習のススメ！

運動会の練習が中心になる毎日でしたが、学習の秋ということで、運動会後は切り替えて学習も大切にしながら毎日を過ごしてほしいと思います。

さて、10月13日（木）～10月19日（水）まで第3回目の家庭学習強化週間が始まります。毎日がんばってやっている宿題にプラスして取り組んでください。学習内容の定着のカギは「復習」にあると言われています。授業でやったことを繰り返し復習することで、脳の中で「短期」の記憶から「長期」の記憶に変換されると言われています。例えば、子どもたちが覚えて口にするテレビのCM。おそらく、子どもたちは覚えようと思って見ているわけではないと思います。しかし、繰り返し見ているうちに、自然に「短期記憶」から「長期記憶」へ変換されているのだと考えられます。

そのように考えると、学習内容の定着をはかるには、同じ内容を二度、三度と復習することが大事だということがわかります。では、その復習のタイミングですが、まずは、その日のうちに一度復習する。次に、2～3日おいて忘れかけたところに、もう一度取り組む。そして、一週間後ぐらいにもう一度……。という具合で進めてみてはいかがでしょうか。

学習の秋。じっくり復習に取り組む、絶好の機会です。

学 年	内 容
1 年生	<ul style="list-style-type: none"><li>音読（ロイロノートで録音して）提出しよう。</li><li>キュビナで復習に取り組もう。</li></ul>
2 年生	<ul style="list-style-type: none"><li>写真（ロイロノートで撮影して）提出しよう。</li><li>キュビナで復習に取り組もう。</li></ul>
3 年生	<ul style="list-style-type: none"><li>ローマ字入力でタイピングの練習をしよう。</li><li>キュビナで復習に取り組もう。</li></ul>
4 年生	<ul style="list-style-type: none"><li>自分で課題をみつけて自学ノートにまとめよう。</li><li>キュビナで復習に取り組もう。</li></ul>
5 年生	<ul style="list-style-type: none"><li>自学ノートに取り組もう。</li><li>タイピング、キュビナで復習に取り組もう。</li></ul>
6 年生	<ul style="list-style-type: none"><li>自学ノートに取り組もう。</li><li>ロイロで社会科新聞づくり、キュビナで復習に取り組もう。</li></ul>

## ～今や必須！？ 小学生からの『お金の勉強』～

2022 年 4 月から、高校において資産形成に関する授業が必修化されるなど、「金融教育」の重要性が注目されていることを知っていますか？ 高校での金融教育が必修化された理由として、「成人年齢の引き下げによる金銭トラブルの防止」、「老後の生活資金不足への対応」、「日本の金融教育(金融リテラシー)の遅れ」などが挙げられています。ですが、『金融教育』と聞くと、小学生にはあまり関係ないように思いませんか？ 実は、金融教育を始める時期は早ければ早いほどいいといわれており、小学生から「お金の勉強」を始めることも大切だと言われています。今日は、家庭でもできる「お金の勉強」について紹介します。

### 【小学生がお金の勉強をする 4 つのメリット】

- ①お金の大切さが分かる
- ②お金の種類や数え方がわかる
- ③確かな金銭感覚を養うことができる
- ④物を大切にできる

### 【～学年別～お金の勉強で何を学ぶべきか？】

小学校低学年のうちに学ぶべきは「**お金の役割**」についてです。

理由としては、**小さいうちからお金の大切さや、使い方がわかる**からです。

例えば、欲しいものを買う為にお金が必要であることや、お金を稼ぐために働く必要があることなどをわかりやすく説明してあげたり、お金の勉強に使える幼児教育用の絵本などを使って読み聞かせてあげたりするのがおすすめです。

さらに、硬貨や紙幣などを見せながら、お金の種類について教えてあげることで、数や計算の概念も学ぶことができます。

中学年では、次のステップとして「**お金の使い方**」について教えるのがおすすめです。

大きくなってから**無駄遣いをする等、お金を粗末にしない為**にも、中学年から使い方について教えてあげるべきだと思います。

方法としては、実際にお金を手にし、使ってみるのが一番理解しやすいでしょう。

少額からお小遣いを渡し、使い方について考えさせることで、意識的に持っているお金を無駄なく上手に使う工夫を凝らすと思います。

さらに、自由につかえるお金を渡しておくことで、持っている金額で買える物と買えない物が区別できる様になり、買えない場合は我慢することを覚えることも期待できます。

高学年になったら「**お金の稼ぎ方**」について教えてみるのもいいでしょう。

貰っているお小遣いや買ってもらっている物等を得る為に、働いてお金を稼ぐ必要があることを教えておくことで、**お金の重要性や必要度についてより深く理解できる**と思います。

例えば、家事の手伝いをするなどで、お駄賃をあげるなどの方法も考えられます。

自身で実際に働いて得たお金であればより大事につかうでしょうし、何よりお金を稼ぐことの大変さを体感することで、親への感謝心も芽生えるかもしれません。

また、欲しい物を手に入れる為に、働いてお金を貯めるという考え方も身に付きます。

ぜひ、ご家庭でも『**今からできるお金の勉強**』について考えてみてください。

(文責:山田)

参考サイトは <https://gfs-official.com/blog/money-study-for-elementary-school-students> です。

ぜひから始める投資が「今や必須!?小学生が楽しみながら積極的に学んでくれるお金の勉強方法とは?」,2022.10.5